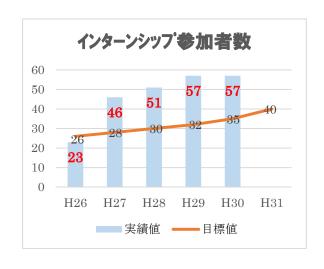
2. 2 就職(企業との関わり)について

総論

平成30年度はCOC+事業最終年度卒業予定の学生が3回生を迎えた。1回生ならびに3回生の就職意識調査を実施し、その分析結果に基づき、奈良県内中小企業の周知に努めた。教職員ならびに3回生向けへの県内企業紹介リーフレットの配布、3回生向けメールマガジン等情報を発信するとともに、県内企業ならび県内自治体セミナー、OGとの交流会、県内優良企業7社への個別会社見学など、就職支援行事の開催にも力を入れた。

(1) 事業協働地域就職率ならびにインターンシップ参加者数の推移

		H26	H27	H28	H29	H30	H31
県内就職	目標値	30	32	33	35	39	62
宗 内机戦	実績値	30	22	32	35	34	
インターンシフ゜	目標値	26	28	30	32	35	40
	実績値	23	46	51	57	57	





	H26	H27	H28	H29	H30	H31
卒業者数	538	526	524	510	510	
全就職者数	323	320	334	321	298	
うち奈良県出身者	33	31	21	33	27	
地域内就職者数	30	22	32	35	34	
うち奈良県出身者	12	10	7	11	10	
うち県外出身者	18	12	25	24	24	

○インターンシップ参加者数

・奈良県大学連合インターンシップは平成 11 年にはじまり、現在は、奈良県下 57 企業・ 団体に学生を受入れていただいており、本学は当初からこのインターンシップに参画している。COC+事業の実施を機に参加学生だけなく、協力企業の増加にも努め、インターンシップ参加者数は計画以上に推移している。COC+事業の開始により学生の県 内企業に対する認知度が向上し、関心を持つ学生が増えてきたことを示している。

○地域内就職者数

- ・事業協働地域内就職率 10%アップのための最終年度の目標値は 62 名となり、ハードル が非常に高くなっている。
- ・本学の特徴として、9割が他府県出身者であるという点に加えて、卒業生の約6割が就職 し、他の卒業生は主として本学大学院に進学している。
- ・奈良県出身者は約3分の1が奈良県に残り、3分の2が県外に流出していることから目標達成には、「奈良県出身者を県内に留め、県外出身学生を一人でも多く奈良県内に留める」ことが必要となる。
- ・実質的にCOC+事業が開始した平成28年度以降、インターンシップの強化や県内企業紹介リーフレットの作成・配布の他、COC+コーディネーターによる学生を帯同した会社訪問等の就職支援プログラムが浸透したことから県外出身者の地域内就職者は着実に増加している。
- ・従来から就職実績のあった自治体・県内企業のみならず、COC+事業開始後の新たな 県内中小企業開拓の結果、これまで採用実績が無かった 16 社に本学学生が 17 名入社す るなど、当該事業の成果が表れている。
 - H27 ㈱鞄工房山本、光洋サーモシステム㈱、大同化学工業㈱、㈱大和農園
 - H28 ㈱イベント21、上六印刷㈱、クオリカプス㈱、奈良県信用保証協会、 南都コンピュータサービス㈱、㈱吉川国工業所

 - H30 奈良県民共済生活協同組合、㈱マイ工務店 (H31.1 現在)

(2) 1回生の就職意識アンケートの実施

本学に入学後ほぼ1年を経過した1回生を対象に、主に奈良県内で就職することに対し 現時点でどのような考えを有するかを尋ね、今後の事業展開の参考とするためにアンケー ト調査を実施した。概要および結果は次のとおりである。

1) 概要

調 査 名:「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に関するアンケート

調査対象:必修科目である健康運動実習Ⅱ(A)~(N)を履修する1回生519人

調 査 日:平成31年1月29日から2月4日の間の各科目開講時

調查方法:質問紙調查(集合調查法)・無記名回答

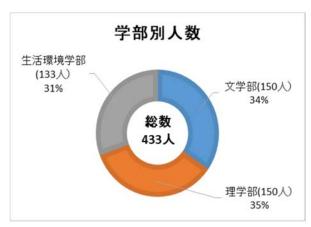
有効回答数 433 人 有効回収率 83%

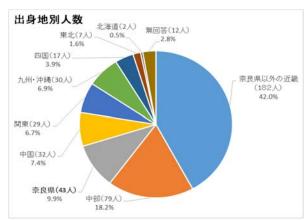
尚、回答者のうち地域志向科目の履修者は 奈良女子大学入門 279 人、なら学 120 人、なら学プラス 121 人、3 科目とも履修しなかった者 93 人であった。

2)調査結果

①全体の構成

学部別の人数は次のとおりほぼ均等である。次に、対象者を出身地別に分類すると奈良県以外の近畿が最も多く全体の4割以上を占め、次いで中部、奈良県の順となった。全体に占める奈良県出身者の割合は10%で、他府県出身者の割合が非常に高い。



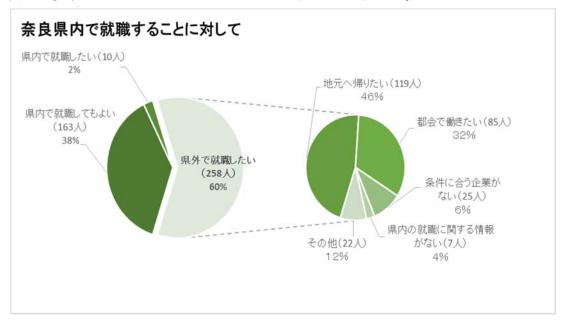


尚、母数の少ない北海道出身者(2人)と東北出身者(7人)について、以降の集計ではこの2地域を合わせ「北海道・東北」(9人)として取り扱う。

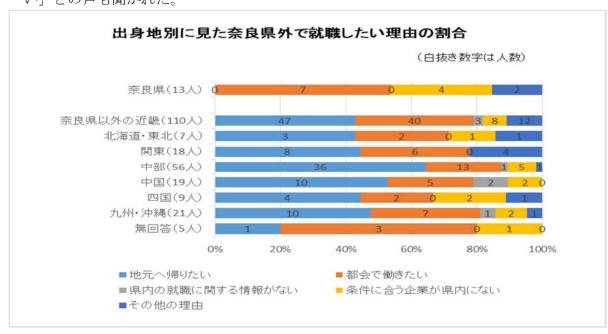
②奈良県内で就職することに対する意識

現時点において、奈良県内で就職「したい」と積極的な回答をした学生は10人とわずか2%である。そこに奈良県内で就職「してもよい」と答えた者を加えても過半数には届かず、約6割の学生が県外での就職を希望していることがわかった。その理由について、半数近くが「地元へ帰りたいから」と答えており、先に示したように奈良県以外の地域からの入学者が全体の9割以上を占めるところが大きな要因の一つに挙げられる。就職をはじめとした奈良県への定着促進あたっては、これらの学生に対して如何に奈良県への

関心と愛着を持たせることができるかが重要であると言える。



一方、奈良県外で就職したい、つまり奈良県内での就職を希望しない理由では「地元への回帰意識」のほかに「都会で働きたい」という希望が大きな割合を占める。以下、「条件に合う企業が県内にない」との回答数が増加した。他に「賃金が安い」、「通勤に遠い」や「奈良に住みたくない」との記入もあった。また、奈良県出身者では「都会で働きたい」や「生まれてずっと奈良、奈良県を出たい」との地元脱出願望や「条件に合う企業がない」との声も聞かれた。



③まとめ

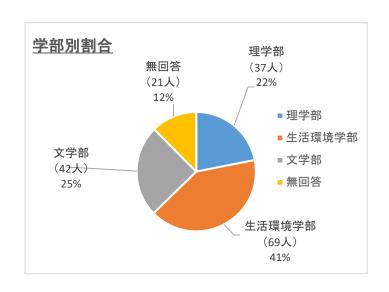
今回の調査を通して、現時点で1回生は卒業後の進路として奈良県内での就職を積極的に志望する意思は高くないことがわかった。しかし同時に4割近くの学生がまだ選択肢としては排除していないことも明らかである。ただ、県外での就職を希望する理由の中には「入りたい企業が県外にある」、「交通の便が悪い」、「通勤に遠い」、「賃金が安い」といった奈良の企業に対する期待値の低さや企業情報の無知、そして「わざわざ奈良で仕事をしようとは思わない」、「奈良に住みたくない」のように「奈良そのものに対する魅力を感じていない」との声のあったことも事実である。もともと奈良県は生活の利便性や有名企業数で圧倒的に上回る大阪や京都といった大都市に近接している点が就職先の選定にあたっては不利になる側面は否定できず、とりわけ実家や居住地がそうした都心近くにある場合はあえて距離の離れた奈良県へ「出てくる」モチベーションが上がり難いことも理解しうる。

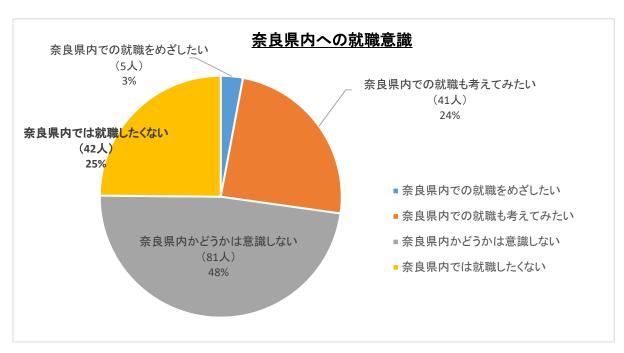
以上のことから、奈良県内の就職に関する情報を的確かつ効率的に伝えることがまず大切ではあるが、1回生であれば就職を本格的に意識し始めるまでには時間的な余裕も見いだせ、より学生の目線に近いところで「奈良そのもの」への興味を掻き立て、自身が関わりを持てるような情報や機会も併せて継続的に提供すれば、そこから「奈良県に根を下ろそう」という気持ちを育み、県内にある企業にももっと目を向けてくれる余地はまだ大きく秘められていると考えたい。

(3) 3回生の就職意向についてのアンケートの実施

平成30年4月に3回生全員(533名)を対象に就職意向についての記名式のアンケート調査を実施した。回答者は169名(回答率:31.7%)であった。奈良県内での就職を目指したいとする学生は5人、奈良県内での就職も考えてみたいとする学生は41人、奈良県内かどうかは意識しない学生が81人であった。

今回のアンケートの側面として、奈良県内への就職意識を高めるため、やまと共創郷育センターが実施するイベント情報や県内企業の情報を希望する学生を集めることにあり、90名以上の学生がメールでの奈良県内企業情報の受信を希望し、後述するメールマガジン「やまじょぶだより」につながった。





(4) やまじょぶだより (メールマガジン) の発信

COC+事業を一層効果的に展開するための一助として、3回生を対象にやまと共創郷育センターの就職支援事業や県内企業に関する情報などを直接メールでお知らせするメールマガジン「やまじょぶだより」の配信をスタートした。(対象者3回生 90名)

おおむね月 $1\sim2$ 回程度のペースでの配信を計画、就職に関する情報だけでなく地元奈良の時節に合わせた情報など硬軟織り交ぜ、できるだけ学生が読みやすく興味を持つような内容にて展開中である。本年度は号外を含め13回の配信を行った。

	号	発信日	概要
1	第0号	2018/4/27	やまじょぶ登録3回生向け(配信登録のお礼も兼ねて)
2	第1号	2018/5/11	6月の県内業界研究会(6/6,6/14,6/19)と7月のOGに聞こう(7/3,7/4)のお知らせ
3	号外	2018/5/18	上記 県内業界研究会(6/6,6/14,6/19)の参加者募集
4	第2号	2018/6/1	県内業界研究会(6/6.6/14.6/19)の参加者の再募集
5	第3号	2018/6/8	県内業界研究会の6/6の結果紹介と6/14,6/19の参加者再募集
6	第4号	2018/6/15	県内業界研究会6/19再募集とOGIC聞こう(7/3,7/4)参加者募集
7	第5号	2018/6/29	OGに聞こう(7/3,7/4)の再募集
8	第6号	2018/7/13	OGに聞こう(7/3,7/5)の結果紹介とポジティブ変換
9	第7号	2018/10/10	県内企業見学会のお知らせ①(当初の通知)
10	第8号	2018/10/19	県内企業見学会のお知らせ②(クオリカプス、DMG森精機に的を絞って)
11	第9号	2018/11/13	県内企業見学会のお知らせ③(DMG森精機、三笠産業、MSTに的を絞って)
12	第10号	2018/12/18	バスで行く、奈良女・奈良高専・奈良県立大合同企業見学会
13	第11号	2019/1/15	南都銀行3daysインターンシップ募集の案内

「やまじょぶだより」配信一覧

(5) 県内企業紹介リーフレットの配布

本学は他府県出身者が9割を占めており奈良県出身者が非常に少ないこと、また、上場企業が4社しかなく、学生における県内企業の認知度も低いことから、事業開始以降、「県内企業限定紹介コーナー」をラウンジに設置し、県内企業の周知に努めてきた。

その一環として、今年度は4月に3回生全員に県内企業紹介リーフレットを作成・配布した。このリーフレットの大きな特徴は、単に企業名を掲載するのではなく、平成24年度以降に本学からの新卒入社実績のある企業に'花のアイコン'で印をつけていることである。これにより多くの先輩が県内企業で活躍していることが分かり、県内企業をより身近に感じてもらえるよう工夫をした。(リーフレット記載企業数 117社、うち本学生入社企業数 56社)引き続き、県内企業周知のため、2019年度版(改訂)も新たに作成し、新3回生全員に配布するよう準備を行っている。



県内企業紹介リーフレット

(6) 平成30年度実施の就職支援活動例

1) 奈良県内企業の魅力を紹介する業界研究会

平成30年6月6日(水)、14日(木)、19日(火)

平成30年度に新たに企画・実施した就職支援事業である。県内にはBtoB企業が多いことから、この業界研究会では、企業の担当者から業界や自社の魅力を5分間でスピーチいただき、その後、学生が企業テーブルへ移動して、フェイスツーフェイスで話を聞いたり質問したりする時間とした。3日間の参加企業は20社、参加学生58名となり、県内にそれぞれ特色のある魅力的な企業がたくさんあることを学生に周知させる良い交流の機会となった。学生からは、「少人数で気軽に話が聞けてとても良かった」、「気になっていた企業から詳しい話が聞けて、良い経験となった」、「もっと話を聞きたかった」などの意見の他、企業からは、「学生との対話の中で、日頃気が付かない学生からの目線に、改めて気が付く有意義な時間となった」等の意見があった。







県内企業研究会 告知チラシ

実施日	参加企業	参加者
6月6日(水) 6社	(㈱井上天極堂【食品業】、岡村印刷工業㈱【印刷業】、河村繊維㈱【繊維業】、国広産業㈱【樹脂加工業】、クオリカプス㈱【製造業】、(社福) ぷろぼの【社会福祉事業】	13名
6月14日(木)7社	上六印刷㈱【印刷業】、㈱MSTコーポレーション【製造業】、岡本㈱ 【繊維業】、ダイシン化工㈱【樹脂加工業】、ディライト㈱【サービス 業】、奈良テレビ放送㈱【放送事業】、名阪食品㈱【食品業】	23 名
6月19日(火) 7社	スケーター㈱【キャラクター用品製造】、辰巳電子工業㈱【製造業】、 田村薬品工業㈱【製薬業】、西垣靴下㈱【繊維業】、ホテル日航奈良【宿 泊業】、㈱三輪山本【食品業】、㈱明新社【印刷業】	22名

2) 県内企業OGとの交流会 in ラウンジ~先輩に聞こう!~

平成30年7月3日(火)、4日(水)

本学総合研究棟S棟内ラウンジにおいて県内の企業等に就職する先輩(OG)と本学学生との交流会を実施した。2日間の参加OGは14名、参加学生22名となり、先輩方の仕事のことやオフの過ごし方など、多方面にわたる事柄について学生が知る良い機会となった。交流会では、まずOGから自己紹介を兼ね2分間のスピーチを行い、その後、OGが各テーブルに座り、学生とフェイスツーフェイスで話を聞いたり質問したりする時間として構成した。学生からは、「先輩方から貴重なお話をいただけてとても良かった」、「とても話しやすい環境だった」、「思っていた企業さんとお話ができて大変満足」、「気軽に質問できる雰囲気がすごく良かった」などの意見の他、OGからは、「学生の率直な意見が聞けて良かった」、「1回生の参加もあり、就職意識の高さに驚いた」、「皆が真面目に聞いてくれ、少しでも役に立てれば嬉しい」、「自分を見つめ直し、初心に戻る良い機会になった」等の意見があった。

実施日	参加OG	参加者
7月3日 (火)	奈良県庁、奈良県警察本部、奈良市役所、㈱南都銀行、 クオリカプス㈱、奈良テレビ放送㈱	15 名
7月4日(水)	奈良県庁、奈良県警察本部、奈良市役所、㈱南都銀行、 上六印刷㈱、東洋スクリーン工業㈱	7名



県内企業OGとの交流会 告知チラシ





3) 女子大学生ワーク&ライフEXPO 2018 平成 30 年 10 月 27 日 (土)

本学体育館にて「女子大学生ワーク&ライフEXPO2018」(奈良県主催、奈良女子大学・ 奈良県立大学共催)が開催された。このイベントは、女子大学生が就職活動のスタートライ ンに立つ前に、働く女性のリアルな話を聞くことで働き続けることを含めたライフプランを イメージする機会とすべく、一昨年本学学生が奈良県に企画提案し実現した。今年は昨年度 に続き第2回目として本学学生 21 名がプロジェクト企画メンバーとして運営に携わり開催 された。当日は、直前までの雨予想から一転、時折青空がのぞくまで回復した天気の下、県 内企業等25社、本学および関西圏の他大学に通う女子大学生63名が参加、元サッカー女子 日本代表(なでしこジャパン)東明有美氏による記念講演の他、ライフデザインセミナー、 就活メイク講座、社会人スキル講座等、多彩なプログラムで行われた。受付では、運営に携 わった本学学生メンバーが参加企業を事前取材し、女性活躍の取り組みや女子大学生へのメ ッセージなどをとりまとめた小冊子が配布された。また、丸テーブルを囲んでの気軽なコミ ュニケーションをコンセプトに行われた、出展各社の女性社員らによる仕事の中身や働き方 などの話は、参加した学生も大いに刺激を受けたようで、奈良の企業等で働くことへの貴重 な動機付けの機会となった。本学学生で構成されたプロジェクト企画メンバーは、リーダー、 副リーダーのもと企画チーム、PRチーム(SNS、チラシ、記事、グッズ)で構成、ミーテ ィングを重ねながら、当日の運営はもとより、学生が出展企業に事前訪問し、担当者に直接 インタビューして感じた企業の魅力、先輩女性の働き方や本音などを記事にしてSNSにて 発信をしたり、小冊子にまとめる等、このプロジェクトのコアメンバーとして活躍した。



女子大学生ワーク&ライフEXPO2018 告知チラシ













女子大学生ワーク&ライフEXPO2018 開催当日の様子

4) 女子大学生のためのキャリア形成講座 平成 30 年 11 月 10 日 (土)

奈良女子大学にて「女子大学生のためのキャリア形成講座」(奈良県主催、奈良女子大学 共催)が開催された。

この講座は、就職活動を控えた女子大学生が、自分の価値観を知り、女性の多様な生き方を学ぶことにより、自身のライフプランの具体性を高め、主体的に生きる意識を培うもので、和歌山大学経済学部助教の本庄先生から「ライフデザイン基礎講座」、日本FP協会から「ファイナンシャル・プランニング講座」が実施された。当日の参加者は4名であったが、自分の価値観や自分の軸となるものを見つけるためにライフキャリアの必要性及び自分の将来の役割やライフイベントなどを考えるワークやゲストスピーカーとの交流、夢の実現に向けて資金計画を立てることは柔軟な生き方にもつながるということを学び、普段の大学の講義とは一味違った和気あいあいとした雰囲気で講座が行われた。







キャリア形成講座 告知チラシ

5) 県内企業7社への会社見学会の実施 平成 30 年 11 月~12 月

平成30年度に新たに企画・実施した就職支援事業である。

県内就職を視野に入れた3回生(平成32年3月卒業予定)をターゲットとして、個別県内企業見学会を実施した。奈良県奈良しごとiセンターの協力のもと、一人でも多くの学生が奈良県内に就職することを目指し、就職活動を控えた学生が奈良県を代表する企業をCOC+コーディネーターが帯同して少人数での直接訪問を実施した。

回	訪問日	訪問企業	参加者数
第1回	H30年11月7日(水)	クオリカプス㈱	4名
第2回	H30年11月16日(金)	DMG 森精機㈱	8名
第3回	H30年11月21日(水)	三笠産業㈱	2名
第4回	H30年11月28日(水)	㈱MSTコーポレーション	4名
第5回	H30年12月5日(水)	㈱呉竹	4名
第6回	H30年12月12日(水)	梅乃宿酒造㈱	5名
第7回	H30年12月19日(水)	佐藤薬品工業㈱	3名

訪問企業と日程等



県内企業見学会 告知チラシ

◇第1回 11月7日(水) クオリカプス㈱

大和郡山市にあるクオリカプス㈱を訪問した。三菱ケミカルホールディングスのグループ会社である同社は、医薬品用のカプセルでは世界2位(国内1位)、医薬品の生産ラインで使用される製剤関連機械では業界トップクラスのシェアを持つメーカーである。取引先は国内ほぼ全ての製薬メーカーで、海外大手企業とも取引を行い、グローバルに事業展開される。総務人事部担当者とカプセル営業部担当者(本学0G)から会社理念、会社のサービスの特徴など説明を受けた後、研究部門、カプセル生産部門、機械事業部の生産現場などを見学した。参加学生からは、「サイトではわからない企業の姿やカプセル業界のことを詳しく聞けて良かった」、「個く社員さんの姿を見ることができてよかった」、「OGの方や人事の方との距離が近く、気軽に質問しやすい環境下で参加して良かった」との感想があり、少人数での会社見学会ならではの大変有益な機会となった。





◇第2回 11月16日(金) DMG 森精機㈱伊賀工場

三重県伊賀市にあるDMG森精機㈱を訪問した。同社は1948年奈良県大和郡山市発祥の工作機械のトップメーカーで本社は名古屋市だが、主な生産拠点は奈良事業所と奈良県に隣接した三重県伊賀事業所に置かれる。今回は、同社最大の総合生産拠点伊賀事業所の見学となった。工作機械の開発に携わった本社人事部の担当者から、会社の理念や沿革の他、開発、設計、製造技術及び、全世界43か国に及ぶグローバルネットワークを持つ同社の生産やサービス体制について説明を受けた。その後、最先端の工作機械生産ラインや開発センターを見学した。参加学生からは、「同社の技術の高さに驚いた」、「機械の事は全く知らず少し不安あったが、丁寧な説明や対応で安心して参加することが出来た」、「文系だとあまり工業系の会社を知ることが出来ないので大変貴重な機会となった」との感想があり、知らなかった業界での新たな発見や気付きを得たようであった。





◇第3回 11月21日(水) 三笠産業㈱

奈良県広陵町にある三笠産業㈱を訪問した。大正元年に木樽用の吞口の製造からスタートした同社はプラスチックキャップ・ペットボトルなど各種包装資材の製造販売を行い、食品用液体調味料の分野で業界シェア30%を誇る。人事総務部の担当者や入社2年目の社員から創意工夫を大切に「アイデアにフタはしない」、「液体を包む技術で世界の食卓を豊かにする」を信条としていること、会社の製品・技術力や毎日の仕事内容などの話を聞いた。参加学生からは、「全く知らなかったが、素敵な会社だった」、「案内頂いた方のようにBtoBの企業をうまく見つけられたら良いと思った」との感想で大変有意義な会社見学会となった。





◇第4回 11月28日(水) ㈱MSTコーポレーション

奈良県生駒市にある(㈱MSTコーポレーションを訪問した。同社は、金属加工に不可欠な「ツーリング」と呼ばれる「工作機械」に装着する「工具保持具」を日本初商品化した業界のパイオニアで1937年創業(81年)の歴史ある会社。現在も業界トップクラスの性能と品質を保つオリジナリティ溢れる商品を開発・製造・販売するメーカーである。商品は、国内のみならず海外でも町工場から航空機産業まで超精密な技術力を要する様々な生産加工現場で使用され、あらゆる産業のモノ造りに貢献している。管理部経営企画室の担当者、本学OGの社員から、MSTブランドの話や会社の特徴についての説明を受けた後、生産現場や工場を見学した。参加学生から「社員の人もとてもあたたかく、実際に見ないと分からない会社の雰囲気やツーリングの工程を知ることが出来た」、「とてもきれいなオフィス、工場で驚いた」、「営業や技術職だけでなく展示会のための仕事もあると初めて知ることばかりでした」との感想で、BtoB企業を見学できる貴重な機会となり、新たな発見や気付きを得たようであった。





◇第5回 12月5日(水) ㈱呉竹

奈良市にある書道用品や筆ペンで馴染みの㈱呉竹を訪問した。同社は創業 1902 年で、伝統的な墨造りを守りつつ「墨滴」、「筆ペン」はじめ新しい商品や分野を開拓し続けてきた国内に留まらず、海外からの信頼も厚い文具メーカーである。本学、一般公募学生との合同訪問となった。総務経理チームの担当者から会社概要の説明後、製造現場の見学、先輩社員との対談会を行った。担当者からは、創業 116 年の老舗企業ながらもチャレンジ精神あふれる会社であり、人と人をつなぐコミュケーションツールを作っている会社であること、また先輩社員との対談会では、時間管理がしっかりしていること、社内の風通しがよく色々な提案を受け入れてもらえるといった話があった。参加学生から「書道の経験もあり、興味深く見学させていただいた」、「自分が思っていた以上に様々な商品展開をされていることに驚いた」、「墨や筆を扱うメーカーならではの手書きや人間味を大切にされるあたたかい会社だと思った」との感想があり、奈良県内の「BtoC企業」を知る大変貴重な見学会となった。





◇第6回 12月12日(水) 梅乃宿酒造㈱

葛城市の梅乃宿酒造㈱を訪問した。同社は 125 年間、葛城山麓で日本酒を造り続けてきた酒蔵、「新しい酒文化を創造する蔵」をキャッチフレーズに大きく売り上げを伸ばす。また、昔ながらの製法を守る一方、世代や習慣、国境をも越えた新しい酒づくりへの挑戦を続ける。社員の平均年齢は 35 歳、若いうちから様々な経験や人脈作りができるよう、組織の活性化にも努めている。戦略推進部の担当者から、会社の沿革と酒造業界全体の説明を受けたあと、酒蔵で実際の生産工程を見学した。また、これから就職活動を迎える参加者に対して、本当の会社の姿を見極めるため、様々な視点からしっかりと観察するようアドバイスもいただいた。参加学生からは「会社の歴史や日本酒・リキュールの製造方法まで詳しく知れ大変良かった」、「酒蔵を見学でき、貴重な経験となった」、「日本が誇る日本酒が奈良から海外に進出していることが嬉しく思った」との感想があった。





◇第7回12月19日(水) 佐藤薬品工業㈱

橿原市の佐藤薬品工業㈱を訪問した。同社は、1947年の創業以来、カプセル錠剤分野における医薬品受託加工業界のリーディングカンパニーとして、他メーカーからの製造受託のみならず、様々な自社医薬品も手がける会社。製薬に関わる幅広い業務を行い、品質保証部と品質管理部という2つの管理体制のもと、維持発展的に品質の向上を図る。全社員中7割近くが30代と若く、明るく活気のある職場で、出産後も働き続ける社員のために事業所内託児所「SATOにこにこ園」も運営するなど福利厚生面も充実している。当日の参加者3名、総務部の担当者から会社の沿革や事業の概略、社員の福利厚生に係る説明を受けた後、参加者全員が無塵作業衣服に着替え、厳重な管理の下、製造工程を見学した。参加学生からは、「生産過程を詳細に見学でき、製薬業界への興味関心が深まった」、「毎回このような厳重な作業服を着て製造していることが初めて分かり、異物混入が絶対に許されない医薬品製造の厳しさも実感した」、「すべてが機械化ではなく、最後は人間の目で確認作業を行う部分もあり、製薬現場の大変さが分かった」との感想があり、今まで知らなかった業界、企業への多くの新たな気づきが得られた。





6) **県内自治体の魅力を知るセミナーの開催** 平成 30 年 11 月 29 日 (木)

本学大学会館大集会室にて「県内自治体の魅力を聞くセミナー」を開催した。10月27日(土)に開催された「女子大学生ワーク&ライフEXPO」の地方公務員編として企画したもので、昨年に引き続き2回目の実施となった。今回は県内10自治体の協力を得て、職員として活躍している本学OGも10名が参加。また、学生は3回生を中心に1・2回生も含め23名(COC+事業の参加校である奈良県立大学の学生2名を含む)が出席した。最初に自治体側から、職員の自己紹介ならびに各自治体の特色や魅力に関するプレゼンを行い、その後学生が個別の自治体ブースを訪問、説明担当の職員やOGに自治体のこと、仕事のこと、採用試験のことなどをじっくりと聞いた。各自治体で活躍している先輩も多く同席していることもあり、学生からは、「公務員の方に直接仕事内容をお聞きする機会は滅多にないのでとても貴重な体験でした」「どなたも気さくに様々な話を聞かせてくださり、大変良かったです」「公務員になるための勉強の話も聞けて為になった」「年齢の近いOGさんがいたことで大変聞きやすかった」といった感想が聞かれた。県外出身者が多く、参加学生たちにとっては、タイトルどおり県内自治体の魅力をじっくりと聞くことができ、情報収集だけではなく、就活に向けた学生生活を送るためのアドバイスを得るなど大変有意義なセミナーとなった。

参加団体(10 団体)			
奈良県警察本部	御所市		
奈良市	生駒市		
天理市	宇陀市		
橿原市	斑鳩町		
桜井市	下市町		

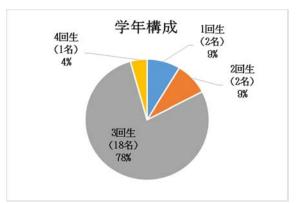


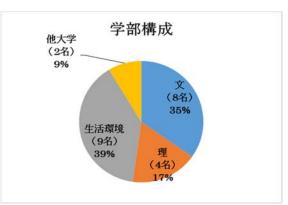




県内自治体の魅力を聞くセミナー チラシ

<u>県内自治体の魅力を聞くセミナーアンケート 集計結果</u> (回答者数:23名(参加者23名))





セミナーアンケート集計(学年、学部構成)

参加学生の感想・意見

- ・今までいろいろなセミナーに参加しましたが今日のセミナーが一番充実していました。 とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・少人数でしかも奈良女のOGの方のお話を聞けてすごく良い機会で就職活動の参考になりました。またこういう場があれば参加したいです。
- ・自治体に関する説明だけでなく、OGの方々のお話も聞くことができてうれしかったです。自治体に入ってから何がしたいのかを明確に考えていこうと思います。質問が思いつかなかった自治体があったので、自治体研究をしようと思います。
- ・ブース形式だったので質問がしやすく、今後の就職活動に生かすことができるものが得られた。あまり知らなかった自治体についても知れて良かった。
- ・奈良女まで沢山の自治体さんに来て頂いて、とてもぜいたくな時間を過ごせました。町 役場いいなと思いました。
- ・公務員の方に直接仕事の事をお聞きする機会がなかったので今日聞くことが出来て良かった。奈良県内の自治体に就職したいと思っているので参考になりました。十津川村や川上村など南部の村にも興味があるので、村の自治体の話も聞いてみたかった。
- ・公務員になりたいとより強く思った。
- もっとたくさん時間があればよかった。
- ・自治体の職員様にお話を聞く機会というのはなかなかないので緊張してしまったが、どなたもとても気さくに様々なお話を聞かせてくださり、実に為になる時間を過ごさせていただきました。
- ・自治体で働いておられる方から直接お話を聞けることは滅多にないのでとても貴重な体験でした。
- ・なんとなく堅い仕事であるというイメージがあったけれど、実際にお話を聞いてみてイメージが変わりました。それぞれの業務内容等についてもお話が聞けて良かった。
- ・様々な自治体の方とお話できて良かった。試験の勉強について話を聞けてためになった。
- ・気軽にと思って参加したら思っていたよりガッツリした説明で少し尻込みした。
- ・様々な自治体さんのお話を聞くことが出来、就職の際のアドバイスや市役所に勤めていてよかったと思う点など、生の声を聞くことができ、とてもよかったです。
- ・橿原市の市役所とホテルを同じ建物でオープンする等、各自治体で今行っているおもし ろい事業や特徴について色々知れて良かった。